

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 2年 3月 23日

事業所名 ぱれっとkid's

		チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係 で適切である	○				
	2	職員の配置数は適切である	○				
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化 の配慮が適切になされている	○				
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目 標設定と振り返り)に、広く職員が参画して いる	○			定期的なミーティ ングを行っている	
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりア ンケート調査を実施して保護者等の意向等 を把握し、業務改善につなげている	○				
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報や ホームページ等で公開している	○			当事業所のHPで 公表している	
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を 業務改善につなげている	○				
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機 会を確保している	○				
適切な 支援の 提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者 のニーズや課題を客観的に分析した上で、 放課後等デイサービス計画を作成している	○			重症心身障がい児のため、 重心用のアセスメントツ ールを使用。また機能訓練員 の意見も取り入れながら、作 成している	
	10	子どもの適応行動の状況を把握するた めに、標準化されたアセスメントツ ールを使用している	○				
	11	活動プログラムの立案をチームで行って いる	○			多職種で考えを出 し合いながら行っ ている	
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫 している	○			季節ごとのイベント を取り入れながら、 作成している	
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をき め細やかに設定して支援している		○			できる限りそのよう に対応するようにして いるが、利用人数が多 いと対応できないこと もある
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活 動を適宜組み合わせ放課後等デイサー ビス計画を作成している	○				
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、 その日行われる支援の内容や役割分担に ついて確認している	○			朝礼時に情報交換を行 い、また児童が集まった 時点でも連絡帳を確認 し、情報共有している	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せを し、その日行われた支援の振り返りを行 い、気付いた点等を共有している	○				
	17	日々の支援に関して正しく記録をとるこ とを徹底し、支援の検証・改善につな げている	○			日誌活用	
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等 デイサービス計画の見直しの必要性を 判断している	○				
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組 み合わせて支援を行っている	○				

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○				
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	○				
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	○				
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	○			担当者会議や、相談支援事業所と電話のやり取りを行っている	
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	○				
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている		○			
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	○				
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	○			主に県や市で開催される協議会へ参加している	
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○				
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	○			機能訓練員によるトランスファー講習を予定している	
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○				
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○			直接、保護者から話を聞いた職員は他職員に共有と、一緒に検討もしている	
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	○				
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	○			行事で集まった際、スタッフと保護者の方々のみで話す時間を設けている	
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○				
	35	個人情報に十分注意している	○			コピーが必要で原本を預かった場合、極力早めに返却するよう心がけている	
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○			事業所から提案する場合、まずは保護者の方から状況や気持ちを確認する	
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている			○		今後、近隣住民の方から声をかけ交流ができるような行事を考えていきたい

		チェック項目	はい	どちらとも いいえ	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
非常時等の 対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	○				マニュアル等はあるが、周知についてまだ完全にはできていないので今後周知していきたい
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○				
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○				
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	○				
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	○				
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○			全体と看護専用のヒヤリハットで分けているが、目を通すのは専門職関係なく職員全員	